

最近、「SDGs」という言葉を学校の中で聞く機会が今まで以上に増えました。この前の遠足で行った清掃活動は、SDGsの以下の目標につながる活動です。

- | | |
|------------------|----------------|
| 11 住み続けられるまちづくりを | 12 つくる責任 つかう責任 |
| 14 海の豊かさを守ろう | 15 陸の豊かさを守ろう |

予想外のゴミの多さで改めてゴミ問題と向き合うきっかけとなった人も多かったようです。今さらですが、

SDGsとはSustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略称です。世界中の国や企業、非営利団体、学校や家族も友だちも、みんなで力を合わせて、よりよい未来をつくらうという国際プロジェクトです。



↓ 3年生の遠足の清掃活動で入賞(集めたゴミの多さ)した班のみなさん



令和6年4月に開校する有和中学校の校舎・体育館建設を担当している清水建設株式会社の作業所長 中山貴夫 様をお招きし、3年生に「建物をつくるしごと」という内容でご講義いただきました。どのような工程で建築物ができていくのか、有和中学校は現在どのような工程にあるのかなど分かりやすく説明いただきました。また、コンクリート工事、鉄骨工事、左官工事、塗装工事、電気設備工事、給排水衛生設備工事をはじめさまざまな工事があるため、それぞれの工事に関わるさまざまな職業についても教えていただきました。さらに、作業現場ではSDGsの17の目標すべてに取り組んでいること、資料はペーパーレス、熱中症対策による作業員の健康への配慮、マイボトルによる現場事務所でのペットボトルの削減、ドローンを使った工事記録と定点撮影、ゴミの分別について等々、具体的な例を挙げて紹介いただきました。



みなさんが大人になったとき、社会的にも職業的にも自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく = 「働く」ということについて考えるよい機会になりました。

SDGsの達成に向けて、自分たちができることを実践してみましょう。もうすでに実践している人もいるかもしれませんが、節水する、冷房や暖房の設定温度を意識する、ご飯の食べ残しを少なくする、エコバッグを使うなど、色々とあるはずですが、自分たちの生活がSDGsとどのようにつながっているかを理解して、自分ごととして捉え実践していくことが大切です。